

下山 孝, 2013. ヒメツチハンミョウの生態についての観察. *Nature Study*, 59(8): 9–10.

Turco, F., A. Di Giulio and M. A. Bologna, 2003. Sexual and cleaning behavior and related morphology in the genus *Cerocoma* (Coleoptera: Meloidae). *Journal of Insect Behavior*, 16: 257–278.

Turco, F. and M. A. Bologna, 2005. Sexual and cleaning behavior of *Lydus trimaculatus* Fabricius with remarks on the courtship of the Lyttini (Coleoptera: Meloidae). *Deutsche Entomologische Zeitschrift*, 52: 131–137.

(2015年8月30日受領, 2015年9月6日受理)

### 【短報】男女群島からのオオクロクシコメツキの初記録

オオクロクシコメツキ *Melanotus (Spheniscosomus) cribricollis* (Faldermann, 1835) は中国北部から記載され, 中国東部や朝鮮半島, 濟州島, 日本から記録されている (Löbl & Smetana, 2007). 日本国内では本州, 四国, 九州, 粟島, 佐渡島, 淡路島, 対馬, 沖縄島から記録されており (Kishii, 1999), 男女群島からの記録は確認できなかった. 筆者らは, 男女群島の男島からの個体を得ているため, ここに報告する.

1♀, 長崎県五島市男女群島男島, 14. VI. 2002 (材採集), 10. V. 2014 (羽化脱出), 足立採集, 有本保管.

本個体は2002年に男島より持ち帰った枯れ木から12年後に羽化脱出したものであり, 本個体がどの枯れ木から羽化脱出したのかは確実ではないが, 管理状況からクワノハエノキ *Celtis boninensis* の可能性が最も高いと予想される. クワノハエノキからは他にダンジョリリタマムシ *Chrysochroa fulgidissima adachii*

やフタオビミドリトラカミキリ *Chlorophorus muscosus* が採集時から5~10年ほどかけて羽化脱出を続けており, それらの幼虫を餌として本種も10年近くをかけて成長してきたと思われる. コメツキムシ科の一部の種には, 幼虫期間が非常に長くなる例が知られているが (大平, 2001b), いずれも本例のように人為的な管理

下での事例であり, 野外においても同様の期間を要するのかわ不明である. 男女群島からは本種を含め8種のコメツキムシ科種が知られることになる (松尾, 2004).

日本産の本種に対しては, 上記学名の他に *Spheniscosomus cribricollis* (Faldermann, 1835), *Melanotus (Spheniscosomus) cribricollis restrictus* Candèze, 1865, *M. (S.) cribricollis* subsp. などの学名が用いられており (Kishii, 1999; 大平, 2001a; 鈴木, 2003), 亜属や亜種の扱いなど, 大陸を含めた各地の標本の調査に基づいた今後の研究が待たれる.

末筆ながら, 長崎県における本種の分布についてご助言をいただいた松尾照男氏 (長崎県佐世保市) に厚くお礼申し上げる. 本調査は, 福江市教育委員会や長崎県教育委員会, 長崎営林署, 文化庁 (委保第47484号) の許可を得て行われたものである.

### 引用文献

- Kishii, T., 1999. A check-list of the family Elateridae from Japan (Coleoptera). *Bulletin of the Heian High School*, 42: 1–144.
- Löbl, I. & Smetana, A. (eds.), 2007. *Catalogue of Palaearctic Coleoptera. Vol.4: Elateroidea, Derodontoidea, Bostrichoidea, Lymexyloidea, Cleroidea, Cucujoidea*. Apollo Books, Stenstrup, Denmark. 935 pp.
- 松尾照男, 2004. 長崎県のコメツキムシ科甲虫類. *こがねむし*, (69): 6–48.
- 大平仁夫, 2001a. 日本産クシコメツキ類の雌内部生殖器の形態について (甲虫目: コメツキムシ科). *比和科学博物館研究報告*, (40): 17–27, pls. 1–8.
- 大平仁夫, 2001b. ヨツモンオオアオコメツキムシの幼生期について. *月刊むし*, (370): 18.
- 鈴木 互, 2003. 対馬で採集されたコメツキムシ. *甲虫ニュース*, 143: 22–23.

(有本晃一 812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1  
九州大学大学院生物資源環境科学府昆虫学教室)  
(足立一夫 福岡市)



図1. オオクロクシコメツキ, 雌, 全形. スケール: 3.0 mm.